

大横川親水公園における今後の管理運営の方向性について

1 隣接する児童遊園との一体的な管理運営

(1) 趣旨

大横川親水公園は、大横川を埋め立てて平成5年4月1日に開園した公園であり、5つの児童遊園と接している。

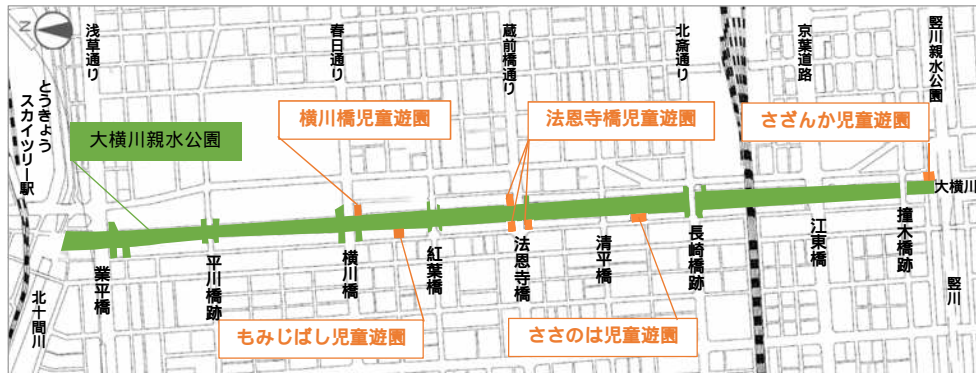
これら6つの公園・児童遊園は、開園時期や場所の違いから、それぞれ別の公園として管理しているが、今後想定される新たな公園機能の仕組みや効率的な維持管理を促進するため、大横川親水公園と隣接する5つの児童遊園とを統合することとする。

【現状】

名称	住所	面積
法恩寺橋児童遊園	墨田区石原四丁目28番2号	676.65㎡
もみじばし児童遊園	墨田区本所四丁目8番6号	397.38㎡
横川橋児童遊園	墨田区横川一丁目1番1号	391.87㎡
さざんか児童遊園	墨田区江東橋一丁目1番4号	382.32㎡
ささのは児童遊園	墨田区亀沢四丁目18番8号	418.54㎡
大横川親水公園	墨田区吾妻橋三丁目、業平一丁目、東駒形四丁目、横川一丁目、本所四丁目、太平一丁目、石原四丁目、錦糸一丁目、亀沢四丁目、江東橋一丁目、緑四丁目地先	63,973.17㎡
合 計		66,239.93㎡

【統合後】

名称	住所	面積
大横川親水公園 (変更なし)	墨田区吾妻橋三丁目、業平一丁目、東駒形四丁目、横川一丁目、本所四丁目、太平一丁目、石原四丁目、錦糸一丁目、亀沢四丁目、江東橋一丁目、緑四丁目地先 (変更なし)	66,239.93㎡ (変更なし)



(2) 今後の進め方

令和5年度区議会定例会2月議会で墨田区立公園条例改正案を上程する。

2 魚つり場の管理運営

(1) 趣旨

大横川親水公園魚つり場は、開園当初から設置している大横川親水公園の特徴的な施設の一つである。

開園時から長く区民等に利用されてきたが、近年は、利用者の固定化や利用者層の偏りなど、今後の魚つり場の管理運営に関する課題が顕著になってきている。

については、魚つり場のニーズの把握と今後の在り方検討のため、試験的に運用方法を変更する。

【利用状況】

- ・直近1年間の利用者数
約6,700人(日平均:約19人)
- ・年代別では、70代以上の利用者が4人に3人以上
- ・利用者のうち約8割が週1回以上利用

年代	割合
70歳以上	76.8%
60～69歳	10.8%
50～59歳	6.7%
40～49歳	2.7%
30～39歳	1.3%
20～29歳	0.0%
10～19歳	0.3%
10歳未満	0.1%
無回答	1.3%

(n=6,706人)

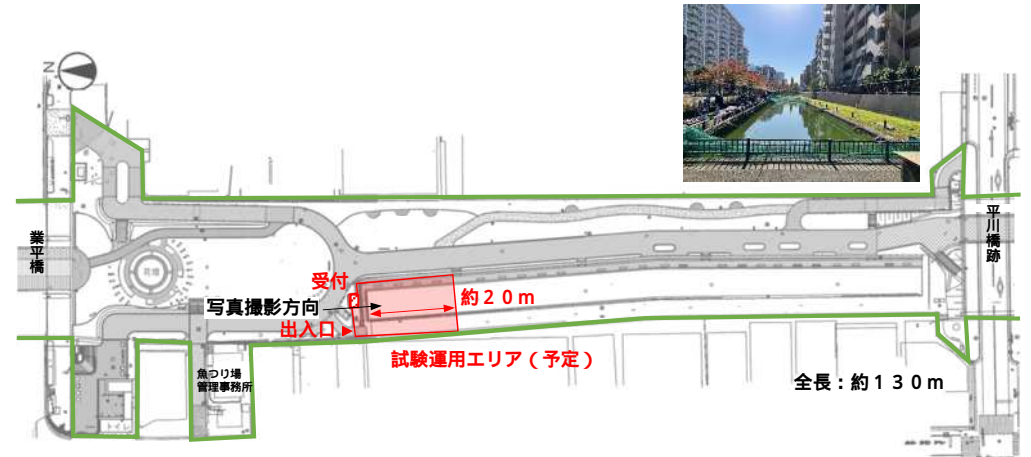
(2) 試験運用の方法(案)

魚つり場の一部(約20m)の範囲を区切り、誰もが手軽に利用できる環境を試験的に作り出す。

ア 期間 令和6年4月から令和7年3月まで

イ 内容

- (ア) 試験運用エリアについては、比較的釣りやすい魚種へ変更(錦鯉を予定)する。
- (イ) イベントとして、定期的開催(月1回以上、年間50日程度)する。
- (ウ) 誰でも参加でき、手軽に魚釣りを楽しめるイベントとする。
 - ・エサ等の実費負担のみで、釣り道具(竿等)を借りられる。
 - ・1回1時間まで遊べる。
 - ・希望により、釣り方のレクチャーを無料で受けられる。



3 今後の方向性

魚つり場の試験運用結果及び現在改定を進めている墨田区公園マスタープランの考え方を踏まえ、大横川親水公園全体における民間活力導入も含めた管理運営の方向性について検討していく。